

平成30年度 第1回豊岡市教育委員会の会議（定例会）会議録

○ 開会及び閉会の日時及び場所

平成30年4月25日（水）

場 所 豊岡市役所本庁舎7階 第3委員会室

所 在 地 豊岡市中央町2番4号

開 会 午後1時30分

閉 会 午後3時5分

○ 出席委員の氏名

教育長	嶋 公治
委員（教育長職務代理者）	深田 勇
委員	中川 茂
委員	佐伯 和亜
委員	向井 美紀

欠席委員 なし

○ 委員及び傍聴人を除くほか議場に出席した者の氏名

事務局	教育次長	堂垣 真弓
	教育総務課長	正木 一郎
	教育総務課参事（給食センター所長）	大谷 康弘
	こども教育課長	飯塚 智士
	こども教育課参事（こども支援センター所長）	福富 省吾
	こども育成課長	宮本 ゆかり
	教育総務課課長補佐	木之瀬 晋弥
	教育総務課主幹（教育総務係長）	若森 和歌子

事務局以外 地域コミュニティ振興部

生涯学習課長 大岸 和義

生涯学習課参事（図書館長） 上田 健治

○ 日程

第1 会議録署名委員の指名

深田 勇 委員

第2 前回の会議録の承認

平成30年3月20日開催 第12回定例会

第3 教育長の報告

第4 地域コミュニティ振興部の報告

1 生涯学習課

- (1) 図書館と学校・園との協力事業について
- (2) 子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭の開催について

第5 議 事

○議案第1号 豊岡市学校給食センター運営委員会委員の任命について

○議案第2号 豊岡市奨学生選考委員会委員の委嘱について

○報告第1号 豊岡市子どものための教育・保育に関する利用者負担額を定める条例施行規則の一部を改正する規則制定について

○報告第2号 寄附物件の受納について

第6 教育委員会事務局の報告

1 教育総務課

- (1) 平成30年度事務概要等について

2 こども教育課

- (1) 平成30年度自然学校の実施について
- (2) 平成30年度地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」の実施について
- (3) 平成30年度修学旅行、運動会及びオープンスクールの実施について
- (4) 平成30年度全国学力・学習状況調査の実施について
- (5) 豊岡市こども支援センターの活動状況報告について

3 こども育成課

- (1) 平成30年度幼稚園・保育所・認定こども園の保育料について
- (2) 平成30年度幼稚園・保育所・認定こども園の入所状況について
- (3) 平成30年度放課後児童クラブの入所状況について

第7 教育委員活動報告

第8 教育委員会活動予定

- 1 次回教育委員会会議の日程について
- 2 今後の活動・行事予定

----- 開会 午後1時30分 -----

(教育長)

ただ今から平成30年度第1回教育委員会会議を開会いたします。本日はすべての委員が出席しておりますので、会議が成立していることを報告いたします。

【日程 第1 会議録署名委員の指名】

(教育長)

日程第1「会議録署名委員の指名」ですが、本日は深田委員にお願いしたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

【日程 第2 前回の会議録の承認】

(教育長)

日程第2「前回の会議録の承認」です。平成30年3月20日の平成29年度第12回定例教育委員会会議の会議録について委員の承認を求めるものです。事前に配付し、ご確認いただいていると思いますが、誤った点、修正などございませんでしょうか。

(委員)

なし。

(教育長)

「なし」という声がありますので、会議録を承認することに決定いたします。

【日程 第3 教育長の報告】

(教育長)

日程第3「教育長の報告」です。前回の3月20日の定例会から本日の会議までの期間における私の主要な活動概要について報告します。資料は、本日配付した資料となります。

《教育長の報告概要》

3月30日、平成29年度退職教職員の辞令交付式に出席した。但馬で74名、豊岡市で25名が退職された。4月2日は、104名の辞令交付を行った。

4月17日、兵庫県市町組合教育委員会の教育長会議に出席した。今年度は、学校がどれくらい忙しいかの根拠を示す資料として、各学校職員の出退勤時間を全て記録する。各市町教育委員会は、月1回それを把握し県教育委員会へ6月・10月・2月に調査記録を報告する。県は、この調査結果を基に次の施策展開を図るとのこと。

今年度よりスクールサポートスタッフが配置された。豊岡市では、小坂小学校に1名配置している。スクールサポートスタッフの業務内容は、必ずしも教師が担う必要のない業務で、朝の電話の対応・印刷・会議の準備などである。週20時間、報償費は1時間1,000円である。効果があれば、時間や人数を増やしたいとのこと。

管理職に魅力を感じない教員が多くなり、教頭の希望者がいない。そのため、若いときから管理職の仕事について意識を持たせながら育ててほしいとのことであった。豊岡市でも今年度末から5年間、48名の校長と教頭が定年を迎える。現在の年齢で43～51歳が管理職の候補者となるが、60人と少ないため大変な状況が迫っている。校長には、危機感を持って人材育成をするように依頼していく。

私の報告は以上です。何かご質問等はありませんか。

(委員)

なし。

【日程 第4 地域コミュニティ振興部の報告】

(教育長)

それでは、日程第4「地域コミュニティ振興部の報告」です。生涯学習課から「図書館と学校・園との協力事業について」生涯学習課参事の図書館長から、続いて「子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭の開催について」生涯学習課長の説明をお願いします。

1 生涯学習課

(1) 図書館と学校・園との協力事業について

《生涯学習課参事（図書館長）の説明概要》

図書館と学校・園との協力事業について、資料に基づき説明する。

学級単位での団体貸出、お話しキャラバン、読み聞かせ等の指導者派遣及び授業等での図書館見学の受入れなど継続して実施する。すでに各学校園から申込みがある。

(2) 子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭の開催について

《生涯学習課長の説明概要》

子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭の開催について、パンフレットにより説明する。今年も6月5日から10日までの6日間、市内各所で豊岡にしながら世界とつながることができる、そんな豊岡のまちを誇りに思う子どもを増やすため、おんぷの祭典が開催される。今年度は、4小学校と4中学校で学校訪問コンサートが開催される。

(教育長)

ご質問やご意見がありましたらお願いします。

(深田委員)

質問です。1点目は、学校訪問コンサートですが、これまでに、まだ実施されていない学校は何校ぐらいありますか。

(生涯学習課長)

今年の予定が終わった段階で、あと2校あります。以前、学校日程のご都合で訪問できず、今回もさらに訪問できなかった学校で2校が残っています。

(深田委員)

わかりました。もう1点ですが、確認したいので教えてください。図書の団体貸出は、学校がこれだけの本を学校の図書室にはないので図書館から借りたいと貸出申込書を提出してお願いするのだと思います。これについてですが、団体への定期的な貸出業務として、各学校に依頼し、一定期間、積極的にパックにして送るとか、配達するなど、そういう計画まで進められるおつも

りはあるのでしょうか。

(生涯学習課参事 (図書館長))

今のところ、申込みを受けてお貸しする方法を取っており、その中で、あまり利用されていないところはどうでしょうかとお話をさせていただくことはございますが、学校はよくご存じで定期的にご利用いただいています。学校から図書の内容などにつきましても、相談があれば本を紹介し、また、こちらのほうから提案させていただいたりしながら、申込みに対してお貸ししていますが、各学校に定期的に貸出しすることはしておりません。

(深田委員)

このようなことを考えていただくことはできないものか、という思いで発言しました。それは、子どもたちの読書量がだんだん少なくなっている中、子どもの読書の興味範囲が広がっていますので、学校の中でそろえるのがなかなか難しくなっていると思います。そのため、市立図書館でそのようなジャンルについても予算立てをしていただけたら、学校も大変助かるのではないかという思いもあります。

(教育長)

私も深田委員と似た感想を持っています。例えば、この協力事業に新規事業はありますか。

(生涯学習課参事 (図書館長))

特に今年新たに出させていただく事業はございません。

(教育長)

例えば今の団体貸出などは、年々増えているのか、それとも減っているのか、データはお持ちですか。

(生涯学習課参事 (図書館長))

データはあります。

(教育長)

先日、全国学力・学習状況調査があり、僕もやってみましたが、一面字だらけでした。今、大学生で1年間に1冊も本を読まない者が半分ぐらいあると報道されています。文字に親しむ機会がなかったら、あのテストは全くお手上げです。そうすると、学校図書だけでそのことを解決することは難しく、家に帰ってから本を読むとか、近くにある図書館に出かける癖があるとか、そういう視点がすごく必要になってくると思います。地域で子どもたちが本を読むために、どんな施策展開をしたらいいのかは、図書館だけではなかなか考えつきにくいと思いますので、学校へ出かけて行って先生に聞くとか、学校の中で最も人気のある本はどんな本か、学校では置かないが、図書館には置いたほうが良いと思われるような本はどんなものがあるか、などリサーチして、学校ではできないことを図書館でするなど、少しずつ考えていく必要があると思います。

大げさに言えば、図書館が充実しており、豊岡の子どもたちは学力は低いかもしれないけれど

も、すごく本を読むとか、本を読んで夢が語れるとか、何かそのような長いスパンで施策を展開することは、豊岡の教育の独自性をつける意味ですごく大事な役割があると思います。去年やったから今年も同じような協力事業をするのではなく、しっかり精査して、学校をぜひとも助けてやっていただきたいと思います。今、回答は求めませんが、よろしくお願いします。

その他、ありませんか。

(委員)

なし。

【日程 第5 議事】

(教育長)

それでは、日程第5「議事」に移ります。まず最初にお諮りします。議案第1号「豊岡市学校給食センター運営委員会委員の任命について」、議案第2号「豊岡市奨学生選考委員会委員の委嘱について」は、人事案件ですので、豊岡市教育委員会会議規則第17条により非公開としたいと考えますが、いかがでしょうか。

(委員)

異議なし。

(教育長)

全員の承認を得ましたので、議案第1号、第2号につきましては、非公開とします。

○議案第1号 豊岡市学校給食センター運営委員会委員の任命について

【非公開会議】

◀ 豊岡市学校給食センター運営委員会委員の任命について、教育総務課参事（給食センター所長）が説明し、審議の結果、原案のとおり可決された。 ▶

○議案第2号 豊岡市奨学生選考委員会委員の委嘱について

【非公開会議】

◀ 豊岡市奨学生選考委員会規程第3条及び第5条の規定に基づき、豊岡市奨学生選考委員会委員を委嘱することについて、教育総務課長が説明し、審議の結果、原案のとおり可決された。 ▶

(教育長)

ここまでの非公開の審議となっております。本日は傍聴人がありませんので、このまま会議を進めます。

続きまして、議事報告です。報告第1号「豊岡市子どものための教育・保育に関する利用者負担額を定める条例施行規則の一部を改正する規則制定について」です。こども育成課長から説明をお願いします。

○報告第1号 豊岡市子どものための教育・保育に関する利用者負担額を定める条例施行規則の一部を改正する規則制定について

《こども育成課長の報告概要》

豊岡市子どものための教育・保育に関する利用者負担額を定める条例施行規則の一部を改正する規則制定について、資料に基づき説明する。

保育料の利用者負担額を改正するもので、国の制度改正により、1号認定児（短時間児）の利用者負担額の上限が減額されたことへの対応と、要保護世帯への利用者負担額の軽減にかかる特例措置を拡充するために関係規則の改正を行う。

1号認定児（短時間児）の保育料は、所得税の所得割額が77,100円以下の場合、C1階層で、国の保育料の上限額が14,100円から10,100円に減額される。豊岡市の保育料は、11,000円であり、国の上限額を上回るため、私立保育園の保育料を国基準と同額に変更する。公立園は、私立園の半額としているので、5,050円とする。

要保護世帯、ひとり親世帯への利用者負担額の軽減にかかる特例措置は、2号・3号認定児（長時間児）の保育料について、C2の階層の一部の世帯に対する軽減措置をC2階層すべての世帯に拡充するものである。これまでの基準では、市民税所得割額が77,100円を上回ると、保育料が大幅に増額し、さらに、多子カウントが園利用の就学前の子ども内でカウントされるため、多子軽減も受けることができない場合がある。そのため、C2階層を3段階に分けるとともに、多子カウントの年齢制限をなくし、急激な保育料の増加を抑える。

これらの制度改正により、一般財源の歳出が約300万円増える見込みである。

（教育長）

質問、ご意見等ありませんでしょうか。

（中川委員）

今回の説明は、なぜ改正するのかという改正理由、また、それによる影響なども含めて、非常にわかりやすく、よかったですと思います。

（教育長）

その他ありませんか。それでは、豊岡市子どものための教育・保育に関する利用者負担額を定める条例施行規則の一部を改正する規則の制定を行ったことをご承知おきください。

続きまして、報告第2号「寄附物件の受納について」、教育総務課長の説明をお願いします。

○報告第2号 寄附物件の受納について

《教育総務課長の報告概要》

個人7件、団体33件の寄附物件の申出があり、これを受納したので報告する。

（教育長）

ご質問やご意見はありませんでしょうか。それでは、寄附物件の受納を行ったことをご承知おきください。

【日程 第6 教育委員会事務局の報告】

(教育長)

続いて、日程第6「教育委員会事務局の報告」です。(1)平成30年度事務概要について、教育総務課長から順に説明をお願いします。

1 教育総務課

(1) 平成30年度事務概要等について

《教育総務課長の説明概要》

平成30年度事務概要について、資料に基づき説明する。

教育・保育施設整備等の推進について、4つの基本方針とその概要、文化財の保護と活用について6つの重点項目を説明する。今年度は、歴史博物館のリニューアルに併せ、日高振興局内にある文化財室を移転し、業務の効率化を図る。

《こども教育課長の説明概要》

平成30年度事務概要について、資料に基づき説明する。

子どもたちが夢を持って、その夢への実現に向けて諦めず粘り強く挑戦し続ける力を夢実現力と名付けている。その夢実現力を育むため、豊岡市小中一貫教育「豊岡こうのとりプラン」を中心に取り組んでいく。

《こども育成課長の説明概要》

平成30年度事務概要について、資料に基づき説明する。

子ども子育て支援事業計画に基づき事業の充実を図り、待機児童解消対策の検討を進めていく。今年度は、待機児童解消対策の推進のため、幼保政策室で保育の受け皿の拡大や保育士等を確保するための取組を進める。

(教育長)

ご質問やご意見がありましたら、お願いします。

(中川委員)

事務概要には、学校における働き方改革の面から取り上げた項目がないのですが、これは1つの大きな社会的な問題でもあるし、どこかで入れてほしかったと思います。こども育成課の中で保育士等の確保については記載があるが、働き方改革についてもきっちり対応することを項目として挙げるべきであったのではないかと思います。

(教育長)

その他ありますでしょうか。

(深田委員)

まず、教育総務課の基本方針の中に有形無形の文化財、こういう言葉がありますよね。無形とあれば、やはり概要の中に、お祭りや地域行事など、文化財の保護という観点からどう関わって

いくのかについての説明があればよかったのではないかと感じました。

もう1点は、こども育成課の子ども子育て支援事業の推進ですが、これは私だけの見方かもしれませんが、待機児童の解消対策の検討を進めることは、第一位の目標だと思います。そして、それを進めると同時に、保護者、つまり家庭との連携を園がどのように進めていくか、働きかけをするのかについての視点が基本方針のどこかに入っていればいいのではないかと思います。具体的に言うと、家庭教育力の向上をこども育成課、保育園・認定こども園などもしっかりと連携しながらサポートしていきますよという視点が必要ではないかと思いました。今は家庭にあまり大きな負担を強いることがなかなか難しくなっており、また、若い保護者の方も社会全体で子どもを見るのは当たり前だという風潮も強い中で、各園やこども育成課が支援できるものと、これは家庭の中でということを確認にする働きかけを示すような、表現の仕方はわかりませんが、そのようなものがあればよかったと感じました。

(こども育成課長)

教育プランの中でも生活習慣については、家庭教育の中で家庭と協力しながら培っていくものとしておりますので、そういった視点での取組も今後考えていきたいと思っております。

(教育総務課長)

文化財の継承と活用では、確かに概要欄に掲げております内容につきましては、すべてハード的な部分だと思っております。民俗無形文化財への支援に関しましては、昨年度から用具や衣装の新調、修理費等への補助制度を設けており、これをしっかり活用していきたいと思っております。

(教育長)

続いて、こども教育課です。(1)平成30年度自然学校の実施について、(2)平成30年度地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」の実施について、(3)平成30年度修学旅行、運動会及びオープンスクールの実施について、(4)平成30年度全国学力・学習状況調査の実施について、こども教育課長の説明をお願いします。

2 こども教育課

(1) 平成30年度自然学校の実施について

《こども教育課長の説明概要》

平成30年度の自然学校の実施予定について、資料に基づき説明する。

今年度は、5月14日から三方小学校と清滝小学校の連合で始まり、6月25日から6月29日の豊岡小学校で終了する。合計718名の児童が参加する。

(2) 平成30年度地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」の実施について

《こども教育課長の説明概要》

地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」について、資料に基づき説明する。

今年度は5月28日(月)から6月1日(金)の5日間実施する。対象となる中学校2年生は、692名で255の事業所で活動する。飲食店から電気・ガス・建築・土木・農業・漁業をはじめ、

様々な市内事業所のご協力をいただきながら子どもたちが活動する。見かけたら声をかけていただきたい。指導ボランティアの説明会は、事業所からの意見もあり、各校で見直しを図り、実施しない学校もある。

(3) 平成30年度修学旅行、運動会及びオープンスクールの実施について

《こども教育課長の説明概要》

修学旅行、運動会及びオープンスクールについて、資料に基づき説明する。

修学旅行は、5月9日から6月8日の各日程で実施する。中学校は東京方面、小学校は府中小学校のみが京都・奈良方面で、それ以外は広島方面である。

運動会は、9月22日に8校、9月23日に20校、9月15日に城崎小学校と城崎中学校が合同の運動会、体育祭を行う。中学校は、9月15日に城崎中学校を含めて8校、豊岡北中学校が9月16日に実施する。

オープンスクールは、各校それぞれ3日間から5日間程度実施する。

(4) 平成30年度全国学力・学習状況調査の実施について

《こども教育課長の説明概要》

平成30年の全国学力・学習状況調査は、4月17日（火）に小学校6年生と中学校3年生が受検した。3年ぶりに理科が加わった。問題文を見ると非常に文章の多い問題であった。結果は夏休み前に各校に返却されるので、夏休みの間にそれぞれを分析し、2学期以降に反映させる。来年度は、4月18日（木）に実施予定で中学校で英語が加わる。中学校は国語・数学・英語、小学校は国語・算数である。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんか。

(深田委員)

このトライやる・ウィークは、各企業さんにとっても長く続いていいことではありますが、負担感もあると聞いており、その辺のところを学校もしっかりとフォローされているのだと思います。例えば、事業所も学校とのつながりの中で「例年通り引き受けます」などの話もあるので、新規の事業所を開拓することは大変だと思います。教育委員会として、学校を支援できるようなことも考えて、学校だけに任せるのではなく、何らかのかたちで学校をバックアップするようなことができれば、続ける上においてもいいのではないかと思います。ボランティア説明会を実施しないところが多くなっているのも、慣れてきたことも確かにあるのですが、特に土木関係などは危険も伴いますので、説明会そのものがなくなってしまうというのもあまりいいことではないと思います。

(こども教育課長)

こども教育課としても、完全に学校だけに任せることはダメだと思っておりますので、新たな事業所開拓や、お願いの手紙はすべて教育委員会から各事業所に出させていただきます。400以上ある事業所なので、担当が各地を回って依頼することができませんので、手紙になって

しまいますが、そのように依頼しております。また、ボランティア説明会についてですが、当然危険なところもありますので、その件につきましては、全体説明ではなく、各学校の事業所訪問において、危険なところは子どもたちに個別に確認をしています。各学校がマンネリ化にならないように我々もできることを考えて協力していきたいと思います。

(深田委員)

ボランティアなのだからそんなことは企業さんも考えておられないと思いますが、何年間か続けたら感謝状のようなものを出せるのなら出してはどうかと思います。もちろん、5年以上続けているなどのところだと思いますが。

(こども教育課長)

トライやるウイーク事業は、平成9年から始まりましたので、長いところはおそらく10年以上、かれこれ20年ぐらいずっとご協力いただいているところもありますが、やはり我々自身は合言葉として、「地域の子どもは地域で育てる」ことを中心に据えて、常に説明させていただいております。学校だけで育てるのではない、家だけで育てるのではない、地域も全部含めて子どもたちを育てていきましょう、としておりますので、感謝状を出してしまうと、趣旨に外れてしまうのではないかという思いがあります。このあたりは少し検討させていただきます。

(佐伯委員)

私は毎年FMジャングルで受入れさせていただいているのですが、来られる生徒さんたちは、終わってからお手紙などで感想をくださるので、私たちも勉強になります。お礼や感想をいただくだけで「この1週間がんばってよかったな」と思えるので、事業所は、参加された生徒さんからのお手紙や感想がいちばん嬉しいと思います。毎年受入れをさせていただいておりますが、毎年したことなので逆に変わったことが起きると、またそれに対応しなければいけません。来られる生徒さんも変わりますし、同じ内容でのリズムができていますので、毎年の交流行事を有り難く受入れさせていただいております。

(教育長)

両委員さんの意見を踏まえながら検討してください。その他ありますか。全国学力・学習状況調査は無事に終わりましたが、大阪府内の学校では、理科の未履修のところがテストに出たとのことで、豊岡市内について調査しましたが、そういう学校は1校もありませんでした。

(教育長)

続きまして、(5)豊岡市こども支援センターの活動状況報告について、こども支援センター所長の説明をお願いします。

(5) 豊岡市こども支援センター3月の活動状況報告について

《こども教育課参事(こども支援センター所長)の説明概要》

豊岡市こども支援センターの活動状況について、資料に基づき説明する。

不登校では、通級児童生徒数の実数は平成29年度で合計20人である。平成28年度は31名で

あったが、11名減った。中学校3年生の通級が10人減っている。それぞれの学校の不登校の児童生徒の対応やその家庭との連携の取組が進んだ成果だと考えている。

特別支援の学校園訪問では、就学前の保育園・幼稚園・こども園等が合計206名で前年度に比べて57名増え、小学生も前年度に比べて31名増となり、やはり支援の必要な子どもたちが増えている実態がある。

家庭児童相談では、平成29年度に健康増進課の親子支援室、子育て世代包括支援センターが開設され、妊娠期から健康増進課の保健師と家庭相談員が連携して対応するケースが増えてきた。

(教育長)

何かご質問やご意見はありますでしょうか。

(委員)

なし。

(教育長)

それでは、子ども育成課、(1)平成30年度幼稚園・保育所・認定こども園の保育料について、(2)平成30年度幼稚園・保育所・認定こども園の入所状況について、(3)平成30年度放課後児童クラブの入所状況について、子ども育成課長の説明をお願いします。

3 こども育成課

(1) 平成30年度幼稚園・保育所・認定こども園の保育料について

《こども育成課長の説明概要》

平成30年度幼稚園・保育所・認定こども園の保育料について、資料に基づき説明する。

1号認定児(幼稚園児)と2号・3号認定児(長時間児)の改正後の保育料額を説明する。公立幼稚園・公立認定こども園のC2階層及びC3階層の保育料額は、経過措置として平成27年度から平成31年度まで段階的に増額している。第2子の額は、第1子の額の75%である。

(2) 平成30年度幼稚園・保育所・認定こども園の入所状況について

《こども育成課長の説明概要》

平成30年度幼稚園・保育所・認定こども園の入所状況について、資料に基づき説明する。

平成30年度の幼稚園園児数は、4月1日現在で300人であり、平成29年度と比較して88人減っている。主な要因は、小坂幼稚園と小野幼稚園が廃園したこともあるが、長時間児の希望が増加している傾向にあるためである。クラス数も減り、日高幼稚園と出石幼稚園の5歳児、五荘奈佐幼稚園は4歳児が1クラス減っている。寺坂幼稚園は、4歳児の希望がなく、5歳児クラスのみである。

平成30年4月1日現在の公立園・保育園2園・認定こども園の合計8園の園児数は525名で、昨年度と比較して25人増えている。豊岡地域では西保育園と八条認定こども園が31人増、竹野認定こども園が12人増である。

私立園では、全体で1,557人で、昨年と比較して1名増であるが、各地域でばらつきがあり、豊岡地域は大幅に増加している反面、日高地域では49人減っている。今年度から私立園のおさ

かおのこども園、小規模保育事業所のスマイリーハウス保育園が追加となった。

(3) 平成30年度放課後児童クラブの入所状況について

《こども育成課長の説明概要》

平成30年度放課後児童クラブの入所状況について、資料に基づき説明する。

4月1日現在の放課後児童クラブの入所状況は、1,363人であり、前年比で61人の増である。小学校の全児童数である4,361人の約3割が利用されている。

(教育長)

ご質問はありますか。

(委員)

なし。

【日程 第7 教育委員活動報告】

(教育長)

続きまして、日程第7「教育委員活動の報告」に移らせていただきます。短時間で結構ですので感想を含めて活動で感じられたことがありましたらお願いします。

(深田委員)

入学式に参加をさせていただきました。城崎小学校・港中学校の入学式、どちらも大きな人数ではありませんでしたけれども、大変落ち着いて、いい入学式であったと感じました。また、幼稚園では中筋幼稚園に行きましたけれども、幼稚園は、こども園もそうだと思いますが、地域の方々がしっかりと支えていかなければいけないという認識が大変強いのだなと感じました。また、園でもそのことを意識して、積極的に地域の方々を来賓としてご招待されていたと思います。小学校・中学校と幼稚園・こども園とは地域の中での果たす役割も違うので、そういうことをしっかりと意識されていたのでよかったですと感じました。

(向井委員)

中竹野小学校と日高東中学校、福住幼稚園の入学式・入園式に出席させていただきました。どれも落ち着いたいい入学式でした。中竹野小学校は式が始まる前に地域の方々とお話をする時間があったのですが、その時に竹野中学校に入学する生徒が20人を切ったということが話題になりました。2～3年前に統合したのに20人を切ってしまったことに私もショックを受けました。私立中学に行った子どもも何人かいたので、より少なくなりましたが、統合しても1年生が20人ぐらいかと、地域の方々も「困ったものだ」と危機感を抱いておられました。私も改めて少子化問題を痛切に実感しました。

(中川委員)

僕は田鶴野小学校と北中学校の入学式に行かせてもらいました。田鶴野小学校では、会場に入ってくるときに6年生が新1年生の手を引いて入ってきました。このことは、今まで他の学校で

も見られました。1年生の子が着席して、次に6年生の子も1年生の傍に腰を下ろします。1年生の中には足をバタバタしたり、後ろを振り返ったりする子がいましたが、そこは6年生の子がちゃんとマンツーマンで面倒を見ています。6年生の男の子も1年生に言い聞かせて、その後、新入生はシャキッとしていた。田鶴野小学校の印象的な入学式の様子でした。

もう1つ、北中学校の入学式では、歓迎の言葉を在校生の女子生徒が行ったが、これがものすごく良かった。堂々たるもので、もちろん内容も全部頭に入っていて、形どおり紙を持っているが、それを見ずに語りかけるような話し方をし、内容も良かった。「皆さんも中学校に入っているいろいろと心配することもあると思う。授業時間も長く、担任が変わることとか、部活のこととか、そういうことは私たちも一緒だったけれども心配ないよ。授業もちゃんと聞いていたらそんなに心配なくていいし、部活もお試し期間や仮入部とかいろいろあるから、今決めなくても、いろいろ経験して決めればいい。いずれにしても何か困ったことがあれば、私たちにいつでも相談してください。そして、中学校の秋の体育祭には、皆さんも含めて一緒がんばりましょう。」といった内容で、とても中学生とは思えない歓迎の言葉で、すごく感動しました。

それから、学校とは直接関係ないのですが、昨日、神鍋の200円バスに乗りました。バスの車内アナウンスを清滝小学校の児童がしていたので驚きました。小学校低学年の子が何人かで声をそろえて、「次は植村冒険館です」と言い、その後、上級生が植村冒険館の簡単な解説をしていました。それから、「整理券を取ってください」のアナウンスも子どもたちがやっていました。もともとそのバスは、地域の人がなんとかバス交通を守ろうとスタートしており、誰が仕掛けたのかわからないけれども、すばらしい地域の取組だと思いました。これもすごく感動しました。

(佐伯委員)

私は、めぐみ幼稚園と合橋小学校と城崎中学校の入学式に行かせていただきました。各学校・園児、児童、生徒の皆さんも呼名のときにとても大きな声で返事ができていましたし、幼稚園の皆さんも入園式の間ずっとお行儀よく座っていることができて、笑顔いっぱい入学式でよかったと思います。

城崎中学校の入学式は体育館で行われたのですが、入った瞬間に保護者の皆さんが「暗い」と言われました。私もとても暗く感じました。それが今日の資料の中で全部の中学校の照明器具をLED化すると書いてありましたので、これで保護者の皆さんも安心されるのではないかと思います。

余談ですが、中学校からめぐみ幼稚園に移られた園長先生がとても一生懸命に対応されていて、それが子どもたちにも伝わっており、とてもいいなと感じました。

あと事務概要の中に「学校給食は児童生徒が豊かな人間性を育み…」と書いてありますが、中学校では、何か行事があると、すぐ「お弁当を持ってくるください」と言われます。土曜日などはわかりますが、家庭訪問で平日3日間お弁当になるのは、ちょっと考え直していただきたいと思います。働き方改革とかいろいろあると思いますが、教師の負担減が保護者の負担増になります。お弁当なしで帰りますということもありますが、それはそれで保護者がお昼の用意をしなければならぬので保護者の負担になります。このように掲げられているのであれば、その辺は少し学校側も考えていただきたいと思います。

【日程 第8 教育委員会活動予定】

(教育長)

それでは、日程第8「教育委員会活動予定」について教育総務課主幹の説明をお願いします。

1 次回教育委員会会議の日程について

《教育総務課主幹（教育総務係長）の説明概要》

次回の定例教育委員会の会議は5月17日（木）9時30分から本庁7階第3委員会室で開催する。第3回定例会について、各委員の都合を確認し、後日連絡することとする。

2 今後の活動・行事予定

《教育総務課主幹（教育総務係長）の説明概要》

今後の活動・行事予定について、資料に基づき説明し、併せて、移動教育委員会の開催について、各委員の意見を求める。

(教育長)

平成29年度は、各地域に出向いて教育委員会会議を行ったのですが、そのときに小中一貫の授業・業務の状況も聞かせてもらおうと、教育委員学習会とセットで実施しました。今年度はどうしたらいいか、ご意見をお聞かせください。

(向井委員)

いろいろなところに行かせていただいて、各先生の小中一貫の取組の状況を聞かせていただいたのは、すごく勉強になりましたし、よかったと思います。

(深田委員)

毎年この話は出てくるけれども、去年はそういう意味では初年度でしたので、報告を聞くという意義があったと思います。今年、地域ごとに新たな課題をまた考えていきたいと思います。そうではないのであれば、本庁で開催するとしてもいいのかなと思います。

(佐伯委員)

勉強にはなると思うのですが、何か課題など、このことについて、とあるのでしたら、移動して開催してもいいと思います。ないのなら、別にここでもいいのではないかと思います。

(教育長)

教育課題としてはいくつかありますが、やはり気になるのは、小規模校がどんな教育活動をしているのかということです。統廃合ということではないけれども、その前段に、私たちは知る必要があると思います。学校訪問はもちろんあるのですが、例えば、先に小規模校を1単位時間の45分視察して、その後最寄りの場所で教育委員会会議をするなど、会議とセットにして教育課題を研修する場にする、そのような方法も考えられるかと思います。学校はこちらで選定をしますが、各学校に出て行くのは、大変になりますでしょうか。

(向井委員)

現場の先生方の話を聞いたりとか、現場を知ることが私はいいかなと思います。

(教育長)

オープンスクールもあるし、学校訪問もあるのですが、それは何かすごいオフィシャルで、いつもと違うようなところもあったりするので、普段の様子、休み時間はどうしているのかとか、授業はどうしているのかということと一緒に見て、どうだったという話を後でできたら、それはそれでいいのかなと思います。そんなかたちで計画させていただいてよろしいですか。

(委員)

異議なし。

(教育長)

それでは、日程は以上で終了となります。全体として何かございますでしょうか。

それでは、次回の定例教育委員会会議は、5月17日(木)午前9時30分から本庁7階の第3委員会室で開催します。

----- 閉会 午後3時5分 -----